

# 自吸タンクSC-4Vの交換手順と資料

**容器の変形やタンク内に堆積物が溜まる場合に交換します。  
また、ガスケットの変形や液漏れが発生した場合も同様に交換します。**

## 1. メイン電源を必ずOFFしてください

電源を入れた状態の場合、間欠運転が始動する恐れがあります。

## 2. 自吸タンク内の液を抜き取ります

ハンドポンプなどで液を抜き取ります。



## 3. ユニオン継手を外します

ネジ式になっていますので、Oリングに注意してユニオン継手を外してください。（Oリングは紛失することが多いので注意して下さい）

## 4. 自吸タンクを外します

平たい液受けを自吸タンクの下に敷いてください。液こぼれ用の受けです。  
4か所のネジを外し自吸タンクをゆっくりと外します。

## 5. ガスケットの破損を確認します

ガスケットの破損を確認し変形や破損が見られた場合交換します



ガスケット

## 6. 新品の自吸タンクとガスケットを交換します

交換手順はガスケットをポンプ本体に取り付けて、自吸タンクをセットし  
金具を付け忘れないように4か所のネジで止めます

## 7. 液漏れの確認

水などの液を入れ液漏れが無いことを確認します  
無ければ、液を循環させて再度確認します

## 8. 増締めをします

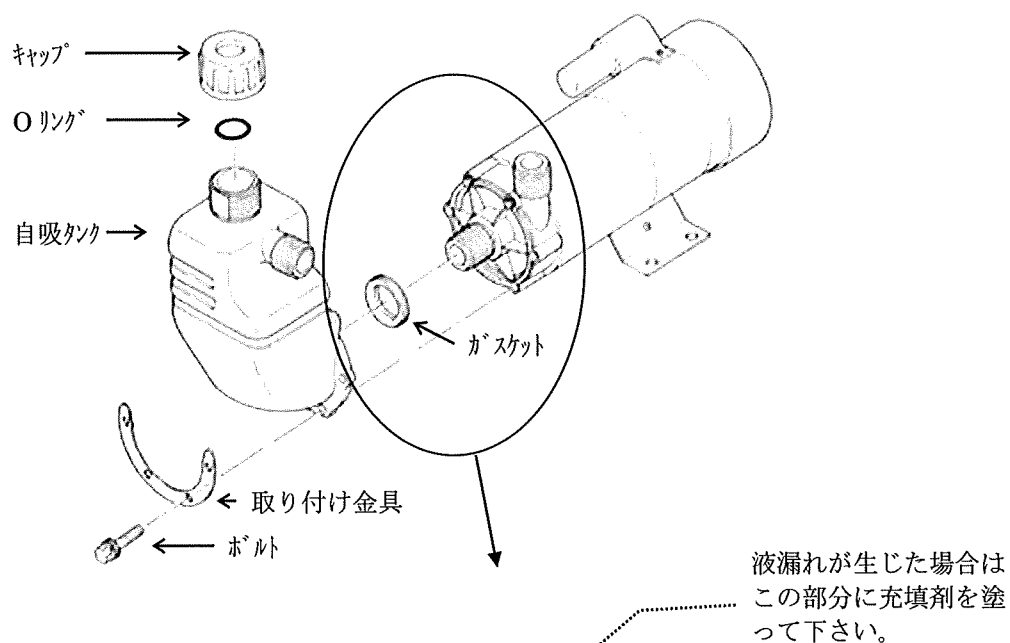
液漏れが無い場合はネジを増締めして終了です

### 【液循環用自吸式ポンプ 分解図】

吸い込み側と出口側のホースを外します。ポンプ本体と自吸タンクを接合しているボルトを外すと下図の様に分解できます。

液漏れが生じる場合は、ガスケットでのシールが出来なくなったものと思われますので、ガスケットの交換または組み立てるとき、シリコン充填剤をガスケットの周囲に塗り組み立ててください。(注：組み立ての際、ガスケットの向きに注意して下さい)

※現在、キャップは閉めすぎ等により割れが発生しやすい為、シリコンゴム栓#9を使用しています。



### 【新品のポンプと補助タンクの接続】

ポンプとフロントケーシングを止めてあるボルトの下4箇所を取り外す。上2個のボルトの締め付けを確認する。(緩んでいる場合は締め付ける)次にガスケットに充分にシリコンをつける。中、外くまなくつける事。つけ終わったらフロントケーシングに取り付け自吸タンクを取り付け金具をはめてボルトで固定する。

